



# 脳卒中アプローチの“困った”を 一発で解決する講座

機能障害に対するアプローチの選択を間違えないために

上肢機能障害・運動失調 **編**

講座コードR-331

日時：2026年1月11日(日) 10:00～16:00

場所：インターネット生中継セミナー

講師：田中 将司 先生(札幌麻生脳神経外科病院) 佐藤 浩之 先生(トータルリハビリテーションクリニック PT)

対象：PT・OT・ST・看護師(左記以外でも受講可)

受講料：会員 9,800 円(税込) 一般 12,800 円(税込)

2週間見逃し  
受講期間あり



今、会員になると  
年会費 4,900 円が無料  
実質 7,900 円 割引

※永久保存版  
PDF スライド付



「動かない」「震える」「使えない」—上肢の問題は複雑で、何から手をつければいいのかわからない…  
そんな臨床の“もやもや”を一気に解消しませんか?

脳卒中の患者さんを診ていて「ウーン」と思わず悩む症状って多いはず。でも、いざアプローチしてみようと思っても「ベストな方法はどれ?」と迷うことはないですか?この新講座では、ベテラン講師が最新エビデンスとアセスメント結果から、個々の障害にあった“BESTアプローチ”を選択して、実践するためのポイントを徹底解説。急性期から回復期にかけての評価の視点から、痛み・可動域制限・運動失調・振戦といった多様な問題への対応法までを、課題指向型訓練や実生活に即した工夫とともに徹底解説。ADLへつなげる“意味あるアプローチ”のヒントが満載です!

## 「動かないから仕方ない」はもう終わり! “使える上肢”へ導く評価とアプローチの最前線

### Lesson 1 動かない腕に、何をすればいいの? 急性期～回復期における上肢機能の見極めと対応戦略

- ・“動かない=あきらめ”ではない! 回復可能性の評価ポイント
- ・FMA・ARAT・Brunnström…  
どれをどう使う? 予後予測とアプローチ選択のリアル

### Lesson 2 痛い! 拳がらない! 肩関節周囲のトラブルとその予防・対応法

- ・拘縮? 亜脱臼? 痛みを悪化させないポジショニングとハンドリング
- ・肩の“触り方”で変わる回復の道筋 ROM エクササイズのコツ

### Lesson 3 手が使えない…でも何かしたい! 上肢機能障害に対する課題指向型訓練の実践と工夫

- ・CI 療法・ミラーセラピー・電気刺激 重症度別の使い分け
- ・“やらされ感”を脱却する課題設定のコツと  
実生活に結びつける“意味ある動作”の選び方

### Lesson 4 動きがごちない… 運動失調の見極めとアプローチの基本

- ・小脳性? 感覚性? 前庭性? タイプを見極める評価法
- ・臨床で使える協調性トレーニングの実際～タイプ別 BEST アプローチ～
- ・知らなかった! 運動失調に“やってはいけない”動作誘導

### Lesson 5 リーチができない! そのときどうするべき? 体幹・肩甲骨・上肢の運動性を引き出すアプローチ

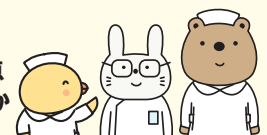
- ・“手が出ない”のは手のせいじゃない!?  
介入すべき予測的姿勢制御 (APAs)
- ・骨盤・体幹・肩甲骨の評価と介入のステップ  
実践! リーチ動作を引き出す 3 つのポジショニング

### Lesson 6 動かすと震える・ブレる…どうすればいい? 企図振戦・測定障害への対応と代償戦略

- ・運動失調のトレーニングは“ゆっくり動かせばいい”は本当か?  
有用なアプローチとその根拠
- ・装具・視覚フィードバック・環境調整の活用法と  
教科書にない実践のコツ
- ・ベテランの技! 振戦が強い人に“あえて”行ってもらおう課題

### Lesson 7 ADL が上がらない! 生活動作に結びつける上肢アプローチの工夫

- ・食事・更衣・整容…“片手でできる”を増やす工夫
- ・代償か? 回復か?  
臨床での判断基準とチームで共有したい  
“上肢の使い方”の視点  
ほか



全3講座  
シリーズ  
受講もできます

2月15日(日)  
感覚障害/  
高次脳機能障害 編

3月8日(日)  
嚥下障害/  
脳卒中疲労/排泄障害 編

3回まとめて  
申し込みと  
クーポン  
3,000 円分  
プレゼント!

※この講座は離床アドバイザー取得コースの  
理論1単位学会認定資格更新10ポイントを  
取得することができます

受講方法

ホームページよりオンライン登録 日本離床学会

Q 検索

お問い合わせ・お申込先



臨床を元気に!  
日本離床学会

